

**製品名: UBE3A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87051**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:101 kDa; Observed MW:101 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UBE3A
別名	AS; ANCR; E6-AP; HPVE6A; EPVE6AP
遺伝子 ID	7337
SwissProt ID	Q05086
免疫原	ヒト UBE3A の合成ペプチド

**背景**

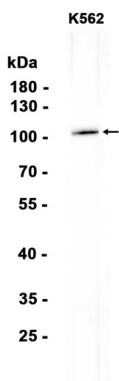
この遺伝子は、ユビキチンタンパク質分解系の一部である E3 ユビキチンタンパク質リガーゼをコードする。この刷り込み遺伝子は、

脳では母系で発現し、他の組織では両対立遺伝子で発現する。母系遺伝によるこの遺伝子の欠失は、重度の運動・知的障害、運動失調、筋緊張低下、てんかん、言語障害、および特徴的な顔貌を特徴とするアンジェルマン症候群を引き起こす。このタンパク質は、ヒトパピローマウイルス 16 型および 18 型の E6 タンパク質とも相互作用し、腫瘍タンパク質 p53 のユビキチン化およびタンパク質分解を引き起こす。この遺伝子の選択的スプライシングにより、N 末端が異なる 3 つのアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが生じる。さらに転写バリエーションも報告されているが、その全長は未解明である。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



UBE3A ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。